5年生道徳研究授業

5年生で、保護者の方に参加していただく形の道徳研究授業を実施しました。「お父さんの仕事」という教材で、「勤労、公共の精神」について考える授業でした。ICTを効果的に活用し、登場人物の立場に立って「自分ならどうするか」を考え、揺れ動く気持ちの変化に着目しながら学んでいきました。また、事前に子どもたちには将来の夢や仕事に対するイメージ等を、保護者の方には「働くことの意義」や「働くうえで意識していることや大切にしているこ

といののめ日もはこれでいてを活したさくだののはいりがいー、さらだされいで活したのは、っちもはのは、っちもはいただものにだきましたが、っちもはいいただものにはしい。



今年度の研究主題『かかわり合い、よりよい生き方に向かう児童の育成~言いたい!聴きたい!生かしたい!自走する道徳の授業づくり~』の具現化に向け、子どもたちが自走する道徳授業の在り方については、さらに研修を深めていく必要がありますが、今回子どもたちが多様な価値観に触れる中で、自分の生き方を見つめたり、保護者の方への尊敬の念や感謝の思いを深めたりする貴重な機会となりました。ご協力いただき大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

























